

# 野田 九条通信

2019年8月 164号

野田・九条の会 事務局

☎ 04-7122-0502



野田・九条の会

検索

≡ やっぱりいまの憲法がいいね！ ≡

ますます

## 強まる 政治への無関心 民主主義の危機 九条改憲

参議院の選挙が終わりました。関心を持って結果を見つめていた皆様はどのような感想をお持ちでしょうか。今後に関わる重要なことなので皆さまと一緒に考えてみたいと思います。選挙結果については新聞などで詳しく報じられていますのでこの選挙の問題点とその結果について考えてみたいと思います。まず投票率の低さです。かつてない棄権票があつたということ。年代でバラツキがあるとしてもマスコミなどが取りあげる無関心というだけでは説明できないものがあつたように思います。この低投票率の恩恵を最もうけたのは与党であることは誰しも認めることではないでしょうか。選挙期間中、安倍総理が「前政権(民主党)は不幸な時代」「決められない政治」と何度も繰り返して「国会で議論しない野党」「出来もしないことをいう野党」と攻撃し続けました。自らの黒塗り公文書、隠蔽予算委員会を開かないなどの国会軽視は棚にあげて、首相のたびたび口にする印象操作を駆使して

国民を誘導しました。結果として自民党に批判的な有権者も投票には行かなかつた、投票率の低さの原因も無関心だからだけでなく、「行かなくても良いか」の諦めた部分も少なくないと思われまふ。その結果、与党が勝利するということがなつたと考えられます。勝利した安倍政権が次に目指すのは改憲です。選挙結果で改憲派が勝てなかつたと言われているますが本当でしょうか。安倍首相はそう考えてはいないようです。選挙中から「議論を始めた」と言っています。そして「呼びかける」と言っています。誰にでもまだ表にでてこない改憲派に呼びかけているようです。呼応する議員はいらうです。2/3はすぐ突破することになるでしょう。今後、1年間は大きなせめぎあひの時間になります。冷静に落ち着いてじっくりと構えましょう。統一候補の勝利

と現段階での改憲の歯止めを軸としながら。私たちの構えを作り出しましょう。より多くの国民と議論しましょう。近隣の九条の会と交流等を含め、より大きな輪を作り出しましょう。さらにより多くの国民の前に「改憲反対」の旗を掲げましょう。闘いはまだまだ続きます。頑張りましょう。



今月の予定です	
_ 皆さん 気軽に参加ください _	
8月4日(日) 13:30~16:40	DVD視聴と「みんな幸せ!仰天世界のジョウシキ」意見交換 「マイケルムアの世界侵略のスズメ」 南部梅郷公民館 南地域九条の会
8月9日(金) 16:00~17:00	9の日 九条通信配布・シール投票 雨天中止 川間駅北口 野田・九条の会
8月10日(土) 13:30~16:00	野田・九条の会 8月例会 懇談「参議院選挙後のこれから」 樺のホール 研修室 野田・九条の会
8月17日(土)~18(日) 9:30~16:30	平和のつどい・のだ2019 「いのちを守ろう!!わたしたちの平和憲法で」 野田中央公民館 平和のための浄化展のたぎ委員会
8月19日(月) 16:00~17:00	9の日 九条通信配布・シール投票 雨天中止 行動 愛宕駅 野田・九条の会
8月29日(月) 16:00~17:00	9の日 九条通信配布・シール投票 行動 梅郷駅 通路 野田・九条の会
お知らせ 8月のおしゃべりカフェはお休みします。	

**【シンク・オア・スイム】**  
悪いおじさんが奮起、シンクロナイドスイミングに  
7/12 から  
ヒューマンラストシネマ渋谷ほか

**【工作】**  
黒金星と呼ばれた男。誰も知らなかつた南と北の裏の裏の裏  
7/19 から  
柏キネマ旬報シアター

**【存在のない子供たち】**  
出生証明さえ存在しないゼイン。レバノンの女性監督の作品。  
7/20 から  
柏キネマ旬報シアター

**この夏お勧めの映画**

日程は必ず確かめお出かけください。

**【太陽がほしい】**  
ドキュメンタリー 慰安婦問題  
8/3 から  
渋谷 UPLINK

**【眠る村】**  
ドキュメンタリー 名張毒ぶどう毒事件  
9/20 13:30から  
アミュゼ柏

**【沖縄パイ戦史】**  
上映と三上智恵監督の講演  
9/21 10:00からと13:15からの2回  
松戸市民劇場

# 明日のことを考えてみる

## 幣原首相が語る「戦争の放棄」



まずイージスアショアを考えます。政府は秋田、山口両県に、ミサイルから日本を守ると説明し設置を進めています。今回の参院選で秋田県民は反対の意思を示しましたが、辺野古同様無視するでしょう。なぜ数千億円もするという軍事施設を東北の秋田、西の山口に配備しようとするのでしょうか。政府は本質を説明しません。米国の論文に分かりやすく記されています。米国にとって秋田、山口はミサイル軌道の直下にあり、ハワイ、グアムそして米国本土へのミサイル攻撃をはるか手前で追跡、抑止できる。米国を守る防衛戦略に効果的で、前線基地として必要だといっているのです。



次にトランプ大統領はイランへの経済制裁を強めるなか、戦争も辞さない勢いで有志連合に参加するよう日本に迫って来ています。アメリカ追従を深める安倍政権の判断が誤らないか、危機は増大しています。

ここで日本国憲法の第九条「戦争の放棄」に関わったといわれる幣原首相から聞き取った\*「平野文書」から心に留めたい一節を紹介いたします。米国との関係から将来日本がどう進めば良いかその方向が見えてきます。幣原首相は語っています。「日米親善は必ずしも軍事一体化で

はない。日本がアメリカの先兵となることが果たしてアメリカのためであろうか。原子爆弾はやがて他国にも波及するだろう。次の戦争は想像に絶する。世界は亡びるかもしれない。世界が亡びればアメリカも亡びる。問題は今やアメリカでもロシアでも日本でもない。問題は世界である。いかにして世界の運命を切り拓くか。」そしてこの後、世界の破滅的悲劇を救うのは軍縮であり、空想に近いがその突破口は自発的戦争放棄国の出現を期待する以外ないと語る。つづけて「幸か不幸か、日本は今その役割を果たし得る位置にある。歴史の偶然はたまたま日本に世界史的任務を受け持つ機会を与えたのである。」とし、「歴史のこの偶然を今こそ利用する秋〔時〕である。そして日本をして自主的に行動させることが世界を救い、したがってアメリカをも救う唯一の道ではないか。」

幣原首相とマッカーサーは戦争放棄について語り合い、いまの平和日本の礎をつくったと考えられます。73年前の敗戦を機に、自国のことのみでなく世界平和に貢献する日本の未来を第九条に託したことがわかります。米国へ隷従することなく、イランとの友好を続けさせることを考えましょう。

\* 出典：「平野文書」を扱った『マッカーサーと幣原総理』大越哲仁 大学教育出版

## 無言館日誌

関一

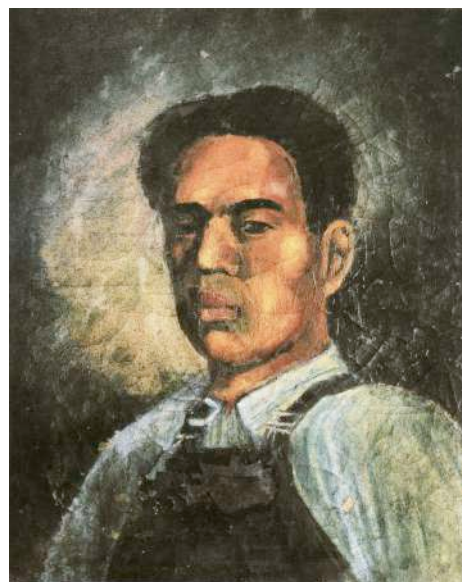
戦没画学生生の遺作を展示している無言館(長野県上田市)から今年も「無言館日誌」が送られてきた。この一年に無言館を訪れた方々の感想文集である。無言館には、母の兄 戸辺 保が描いた自画像を収納して頂いている。保は美校で学ぶこともなく野田醤油へ勤めながら絵を描いた。昭和17年応召、北満へ。その後乗った船が轟沈、帰らぬ人となった。

無言館日誌に記された感想文から

- ・今は平和と言え、左だ、「反日！」という若い人が増えている。千人のうち一人でも、己の無知を知って欲しい。この無言館を訪れて。
- ・思い切り泣きました。当時の若い人達の気持ちを十分に受け止めました。
- ・こんなに静かに戦争の無残さを訴えている、憲法がいじられようとしている今、一人でも多くの政治家にも足を運んでもらいたい所です。

等々・・・

もう描かなくなった96才の母を連れては無理だけれど、体が動くうちに無言館を再訪したいと思っている。



自画像 戸部保